い わ て 未 来 研 会 報

NPO 法人いわて未来政策・政経研究会会報　第 37 号(R1. 7. 30)

ご挨拶

会長　相原　正明

気が付くと凌霄花(のうぜんかずら)の大応援団に取り囲まれていました。お元気でしたか。

10 年目に入ったいわて未来研ですが、順風を受けて予定の航路を進んでいると感じます。

取材等を通じて知り合いとなった法人の代表者の方が、会の活動を評価して法人会員として新たに加入されるということもありました。

会事業の柱である年 4 回の会報発行ですが、今回から、ヤマト運輸(株)の「クロネコ DM 便」を活用して、透明な袋に折らずに封入して送付することとしました。経費も節減されます。何が届いたか分かりやすく、折らないことで読みやすいかと思います。ご感想もお聞かせ下さい。

新たに就任した役員の方々も張り切っております。年度後半に向けて地域貢献を一層充実させるべく更にギアアップしてまいります。

会員の皆様のご参画、ご支援をお願いいたします。

いわて未来研

〒023-1131 岩手県奥州市江刺愛宕字橋本 119 番地
TEL 0197-35-2134　E-mail miraiken@pon.waiwai-net.ne.jp
FAX 0197-35-2134　URL http://iwate-miraiken.sakura.ne.jp

H31・R元通常総会 講演会・交流会 開催される

令和元年 5 月 18 日(土)午後 2 時 30 分から奥州市のプラザイン水沢で通常総会が開催され、正会員 105 人が出席(本人 29 人、書面 76 人)しました。

水上信宏洋野町長から、お祝いメッセージと観光パンフレットを寄せていただきました。

平成 30 年度事業報告・活動決算の承認、平成 31 年度・令和元年度事業計画・活動予算の決定、理事・監事の選任が行われました。

的確な議事を進めていただきました議長役の高橋晋さん(奥州市江刺)に感謝いたします。

講演会では 35 名が参加し、防災対策の第一人者である岩手大学名誉教授齋藤徳美講師の「戦争のない幸せを喜びつつ、災害の平成を振り返る」と題したお話に聴き入りました。

交流会では、25 名が参加し、齋藤講師を交え、時を忘れて懇談・交流したところです。

総　会

講　演　会

お知らせ

お願いなど

会の発展のため、加入促進方を宜しくお願いいたします。

R1.7.30 現在会員数

個人正会員(年会費 2 千円)　167 名

個人賛助会員(年会費 1 千円)　63 名

団体正会員(年会費 2 万円)27 法人・事務所

団体賛助会員(年会費 1 万円)2 法人

合計　259 名・法人・事務所

ご寄附御礼

前回会報(第 36 号)で報告した以降の状況。金額 15 千円(R 元年度寄附の累計 15 千円)

―寄附者ご芳名―

千田　幸雄　様 (6)
佐藤　晃一　様 (5)
千田　敏彦　様 (2)
菅野　耕悦　様 (1)
外川　昌子　様 (1)

( )内は金額(千円)

会員等親睦交流事業

★ 期日　令和元年 10 月 4 日（金）…平日

★ 場所　一関市室根地区―室根神社、室根山、気仙沼大橋ほか

★ 交通方法　水沢自動車学校バスほか

★ 会費　一人 2,500 円

✪ 詳しくは別添のチラシをご覧の上、お早めに申し込み下さい。

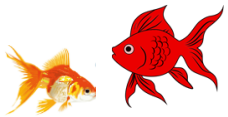
会費納入のお願い

ご提言・ご意見の中間集約

❊ お陰様で会員の皆様から行政機関、政党等への政策・意見提言を寄せていただき、中間集約として添付資料のとおりまとめてみました。

暫定的な姿ですが、ほぼ例年並みとなっています。

❊ 更に募集したいと思いますので、さきの様式により、9 月末日までにお寄せ願います。



編　集　後　記

本会報の編集作業期間は、参議院議員選挙とも重なりました。私が会報資料として記載しました米中日の経済成長の大きな差についての政策論にも注目しましたが、政見放送においてほんの小さく触れられた程度で、まだまだこれからの論議課題と感じました。

また、同時期にいくつかの市町村議会議員選挙があり、当会役員の複数が出馬しました。私も個人的立場で応援演説などに駆け付けたところです。自分自身も立候補経験がありますが、まさに命がけの決断であり、踏み入る世界は努力と成果が必ずしも結びつかない実に厳しいところです。それだけにいわば戦友である支援者との強い結びつきも素晴らしい経験・財産となります。後日また。(相原)